

平成28年度開発トラスト助成の実施結果

公益信託北海道開発国際交流基金
受託者三井住友信託銀行株式会社

公益信託北海道開発国際交流基金（略称「開発トラスト」）は、北海道開発事業に係る国際交流、海外経済協力等の取組に対する助成を行い、もって国際化時代における北海道開発に携わる人材の育成及び北海道開発の推進に貢献することを目的とし、平成3年5月、財団法人北海道開発協会・北海道建設業信用保証株式会社の出捐により設定された公益信託です。当信託は、三井住友信託銀行が受託し、運営委員会の意見・勧告に基づき運営されています。

平成28年度は次のとおり3件に助成を実施しましたので、各事業の報告概要を紹介します。

1 対象事業：派遣事業

申請者：ラナルド・マクドナルド奨学基金支援の会

事業名称：北海道利尻高等学校生徒のアメリカ短期留学派遣事業（2016年10月21日～11月2日）

事業目的：利尻高校の生徒が鎖国していた江戸時代に利尻島に上陸したラナルド・マクドナルドの生没地を訪問・交流し、特色ある高校創生を目指す。

2 対象事業：派遣事業

申請者：一般社団法人 滝川国際交流協会

事業名称：モンゴル国農業技術専門家派遣事業（2016年7月7日～7月12日）

事業目的：モンゴル国ウブスハンガイ県の①稲作栽培技術・野菜栽培技術の向上、②農業普及員の人材育成、③食生活改善基盤づくり、④国民の健康増進、⑤その他モンゴル国の農業振興・地域振興に寄与する。

3 対象事業：コンベンション事業

申請者：公益社団法人 全日本鍼灸学会北海道支部

事業名称：第65回公益社団法人全日本鍼灸学会学術大会北海道大会（2016年6月10日～6月12日）

事業目的：現代医療における鍼灸医療のあり方を、制度、臨床、研修、教育と研修発表及び、国内外との情報交換などを行い、鍼灸医学界の学術発展に寄与する。

1 北海道利尻高等学校生徒のアメリカ短期留学派遣事業

事業の概要

ロナルド・マクドナルドについて調べるとともに、マクドナルドの生誕地と没地での記念碑見学と地元高校での授業体験、生徒との交流、ホームステイ等を通じて英語によるコミュニケーション学習に取り組んだ。本事業により、参加者はもちろん学校全体においても、アメリカ留学応募を動機とした英語学習への意欲が高まった。



2 モンゴル国農業技術専門家派遣事業

事業の概要

申請者は平成23年度から5年間にわたって主体的に、ウブスハンガイ県農業技術研修員受け入れてきた。本事業においては、研修員受け入れに携わってきた5名の農業技術専門家が、現地を訪問して研修員の活動やモンゴル国農業の現状を把握し、栽培技術等について助言するとともに、今後のモンゴル国における農業振興について意見交換を行った。



3 第65回公益社団法人全日本鍼灸学会学術大会北海道大会

事業の概要

本事業は「これからの日本の医療を担う鍼灸～鍼灸治療と医療連携～」というテーマに基づき開催され、大会の参加登録者数は1,583人を数えた。プログラムの一つである「第7回日韓ワークショップ」においては、日本を含めた6つの国と地域から18名の外国人が参加し、研究発表、質疑応答など活発な意見交換が行われた。

